

【資料1】

1 今年度の噴火警報等の発表状況及びその他の報告事項について

(1) 令和7年度の噴火警報等の発表状況

- ・2025年3月以降の噴火警報、噴火予報及び火山の状況に関する解説情報（臨時）発表履歴
(2026年3月6日時点)

火山名	噴火警報及び予報、火山の状況に関する解説情報（臨時）の発表履歴	
雌阿寒岳	2025年9月15日15時20分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
草津白根山（白根山（湯釜付近））	2025年8月4日02時00分	火山の状況に関する解説情報（臨時）
	2025年8月4日05時50分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
焼岳	2025年3月4日09時20分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	2025年4月18日11時00分	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	2026年1月25日05時50分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	2026年3月4日14時00分	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
御嶽山	2025年5月20日11時00分	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
三宅島	2025年6月17日12時00分	火山の状況に関する解説情報（臨時）
	2025年6月17日12時50分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	2025年7月18日11時00分	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
阿蘇山	2025年7月4日13時00分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	2025年7月25日11時00分	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
霧島山（新燃岳）	2025年3月30日03時53分	火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	2025年4月2日11時00分	火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	2025年5月27日11時00分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	2025年6月23日18時30分	火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	2025年10月17日11時00分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
口永良部島	2025年4月11日09時30分	火山の状況に関する解説情報（臨時） (4月11日16時00分～4月16日16時00分まで定時発表)
	2025年4月16日23時30分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	2025年6月11日10時15分	火山の状況に関する解説情報（臨時） (6月11日16時00分定時発表)
	2025年6月11日21時00分	火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	2025年9月5日11時00分	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	2025年9月19日11時00分	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

(2) 火山情報アドバイザー会議の助言を踏まえた取り組みについて

● **岩手山に関する対応状況**

主な指摘事項

「東北大学のひずみ計では、2024 年 7 月頃には東岩手山直下への 10^6m^3 を超えるマグマの貫入を示唆する明瞭な変化と読み取ることができ、この頃の地殻変動に関する評価については、改善の余地がある」

「現在の噴火シナリオや噴火警戒レベル判定基準は、観測事例がある 1998 年の活動を強く反映した地震活動から活動推移が開始することが前提になっている」

気象庁の対応

- ・ 地殻変動の状況を踏まえ、適切な情報発表について検討を実施した。
- ・ 黒倉山付近の微小な地震活動について、判定基準へ追加する検討を進めている
- ・ 噴火シナリオの見直しは必要と考えており、現在の活動を振り返ったうえで、有識者の協力を得つつ改定案を策定し、協議会に見直しを働きかけていく予定である

● **御嶽山に関する対応状況**

主な指摘事項

「2025 年 1 月 21 日の傾斜変動を伴う火山性微動は、現象発生前に短期的な地震回数基準（50 回以上/24 時間）の地震増加を伴わなかったが、事前にレベル 2 に引き上げておくべき現象と考えられる」

気象庁の対応

- ・ 5 月 20 日に噴火警戒レベル判定基準を改定し、中期的な地震回数の基準（地震回数 100 回以上/10 日間）を追加した。

● **霧島山（新燃岳）（臨時会）に関する対応状況**

主な指摘事項

「今後の火山活動の推移の判断にあたっては、火山ガスの放出量や地殻変動の膨張レートに着目すべきである」

「GNSS 観測データについて、日向灘の地震の余効変動を除去するなど、膨張の開始時期を精査する必要がある」

「気象庁の発表する火山情報の中でも、火山ガスに係る注意喚起を記載したほうがよい」

「噴火に関する火山観測報において“噴火したもよう”や“不明”といった記述が多く情報内容を改善することはできないか」

気象庁の対応

- ・ 火山灰採取、火山ガス観測を継続的に実施するとともに、GNSS による地殻変動に注視し、火山活動の推移の判断に利用している。また、2025 年 10 月及び 2026 年

【資料1】

2月の火山調査委員会に資料を提出し、総合的な評価にも活用されている

- ・GNSS観測データの精査（日向灘の地震による影響の除去）を試みたが、信頼性の高い結果を得ることが難しかったため、国土地理院とも認識を合わせ、膨張の開始時期は変更していない。
- ・火山ガスへの注意喚起については、過去にも火山情報に記載した事例があり、必要な場合は記載することとしている。
- ・霧島山の「噴火に関する火山観測報」については、火山が空港に近いとため、航空関係の利用者からの噴煙に関する情報のニーズを踏まえて提供している。そのため、ごく小規模な噴火でも情報発表するため、不明などの記載も多くなっている。引き続き利用者のニーズ等を踏まえつつ、改善できることがないか検討していく。